

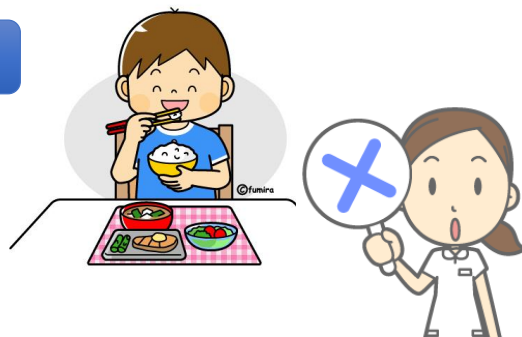


お子様の麻酔後の注意

本日、お子様の歯の治療で麻酔を使用しました。麻酔は1時間程で徐々に冷めてきますが、その間、唇やほっぺの内側が痺れるなどの違和感がありますので、以下のことにご注意下さい。

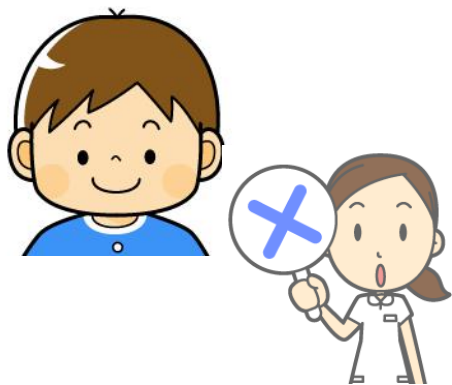
①麻酔が覚めるまで食事をしないで下さい

麻酔が効いている間は、お口が痺れているため、あやまって唇やほっぺを噛んでも気付きません。そうすると、麻酔が覚めてから痛んだり腫れたりします。



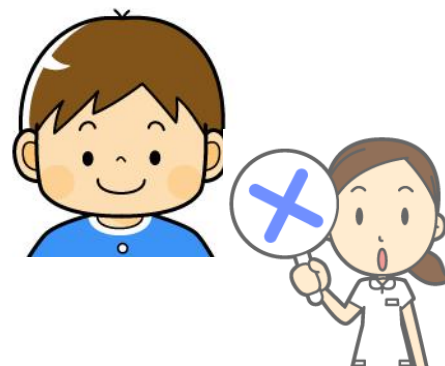
②ほっぺを触りすぎないようにして下さい

お口が痺れていると、触った感覚が面白いためにほっぺを触って遊びます。爪を立てたり触りすぎると腫れることがありますのでご注意ください。



③ほっぺを噛まないようにして下さい

違和感があると、ほっぺを触るだけでなく、歯でお口の粘膜を挟もうとします。お口の粘膜が傷つくと、口内炎等が出来て痛みの原因になりますのでご注意ください。



④休息を充分に取りましょう

一般的に、治療時に麻酔を使用する場合は、お子様にとって肉体的にも精神的にも負担のかかる処置が多いと言えます。治療が終わると嬉しくてはしゃぎ回りますが、実際には体と心に大きなストレスを抱えていますので、できる限り安静にして休息を取るようして下さい。

